



名古屋大学・博士課程教育リーディングプログラム（オールラウンド型）

「PhDプロフェッショナル登龍門」～フロンティア・アジアの地平に立つリーダーの養成～」



第8回 グローバル人材のための国際情勢講座

核兵器の国際的コントロール をめざして ～核不拡散の現在～

マーク・フィッツパトリック

(英国国際戦略研究所 核不拡散・軍縮プログラム部長、元米国国務次官補代理)

2015年 1月28日 水 15:00▶16:30

名古屋大学 坂田・平田ホール (理学南館1F)

言語 英語 (日本語による同時通訳あり)

名古屋大学・博士課程教育リーディングプログラム「PhDプロフェッショナル登龍門」では、国内外の著名な専門家を招聘して連続講義「グローバル人材のための国際情勢講座」を開講しております。

このたびは、英国国際戦略研究所 (IISS) のマーク・フィッツパトリック核不拡散・軍縮プログラム部長を招聘し、核の闇市場とは何か、核不拡散体制の構築に向けての取り組み、北東アジアにおける核不拡散のために日本が取り組むべき課題などについてご講演頂きます。

◆マーク・フィッツパトリック氏の略歴



ハーバード大学ケネディ行政大学院修了。米国国務省に入省し、南アジア地域部、国務副長官特別補佐官、駐日米国大使館、ウィーン国際機関代表部での核政策に関する代理公使および参事官を経て、国務次官補代理 (核不拡散担当) に就任。国務次官補代理の在職時には、イラン・北朝鮮・リビア・イラク・南アジアによる核拡散に対処するとともに、核拡散に関する安全保障構想 (PSI) や最先端通常兵器の輸出規制プログラムを主導した。

2005年に英国国際戦略研究所 (IISS) に移り、核不拡散・核拡散に関する安全保障・軍縮を通して核兵器の脅威の阻止について研究するとともに、欧州核不拡散コンソーシアム、世界経済フォーラムの核兵器・生物化学兵器に関する地球規模の課題評議会の委員、およびBBCやNPRのコメンテーターを務めている。

著書に『パキスタンの核兵器危機の克服』(IISS Adelphi Book 443, 2014)、『イランの核兵器危機』(IISS Adelphi Paper 398, 2008)があるほか、北朝鮮・イラン・南アジア・中東・核の闇市場などに関する英国国際戦略研究所の調査資料 (IISS Strategic Dossiers) を執筆した。

◆キャンパスマップ



◆参加申込

当日、受付にて参加登録を行います (事前登録は不要です)